



—東地中海・北アフリカ地域ニュース—

チュニジア：大統領選挙はシブシーとマルズキーの決選投票へ

11月23日、移行過程の最終段階となる大統領選挙が27名の候補者によって争われた。25日、独立最高選挙機構（選管）は投票結果を発表し、得票1位はチュニジアの呼びかけ党のバージー・カーイド・シブシーで39.46%、2位は共和国議会のムンスィフ・マルズキー現大統領で33.43%であった。

大統領候補は50%以上の得票で当選となる。50%以上の得票を確保した候補者はいなかったため、上位2者による決選投票が12月末日までに行われる見通しである。

■投票率：62.90%





■得票率：

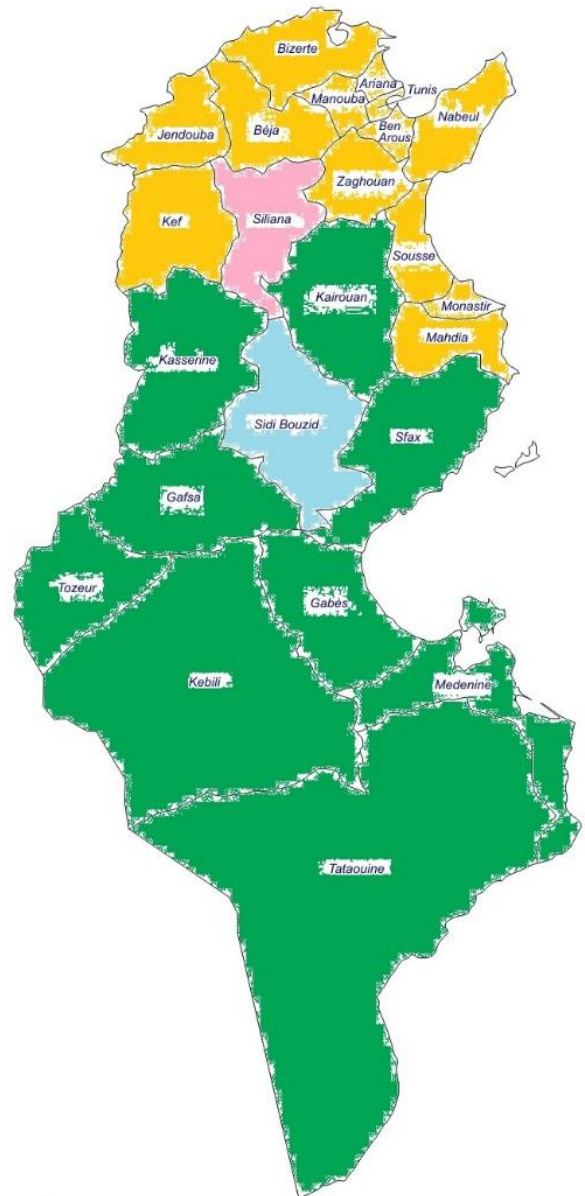
バージー・カーイド・シブシー	1,289,384	39.46%
ムハンマド・ムンスィフ・マルズキー	1,092,418	33.43%
ハンマ・ハマミー	255,529	7.82%
ムハンマド・ハーシミー・ハームディー	187,923	5.75%
サリーム(スリーム)・リヤーヒー	181,407	5.55%
カマル・ムルジャー	41,614	1.27%
アフマド・ナジブ・シャッビー	34,025	1.04%
アフマド・サーフィー・サイド	26,073	0.80%
ムンジル・ザナーイディー	24,160	0.74%
ムスタファー・ベン・ジャアファル	21,989	0.67%
カルスーム・カンヌ	18,287	0.56%
ムハンマド・ファリーハ(フリーハ)	17,506	0.54%
アブドゥッラッザーク・キーラーニー	10,077	0.31%
ムスタファー・カーミル・ナーブリー*	6,723	0.21%
アブドゥルカーディル・ラバーウィー	6,486	0.20%
アラビー(ラルビー)・ナスラ	6,426	0.20%
ハムーダ・ベン・サラーマ	5,737	0.18%
ムハンマド・ハームディー*	5,593	0.17%
メヘズ・ブーサイヤーン	5,377	0.16%
サーリム・シャイービー	5,245	0.16%
サミール・アブディリー	5,054	0.15%
アリー・シューラービー	4,699	0.14%
ムフタル・マージュリー	4,286	0.13%
アブドゥルラウフ・アイヤーディー*	3,551	0.11%
ヤーシーン・シャンヌーフイー	3,118	0.10%
アブドゥルラヒーム・ズワリー*	2,701	0.08%
ヌールッディーン・ハシャード*	2,181	0.07%

(出所) 選管HPより作成。*印が付いた候補者は投票日まで到大統領選からの辞退を表明したが、投票

用紙には候補者氏名が掲載されたままとなった。

■得票1位候補者の県別結果

シブシー	
マルズキー	
ハマミー	
ハームディー	



評価

選管発表の結果によると、シブシーは首都チュニスを含む北部・都市部で得票第1位となり、マルズキーは南部・アルジェリア国境地域で1位となっている（右図参照）。チュニス2区、ナーブル、バジャ、ケフではシブシーが50%以上を獲得した一方で、南部のトゥズール、ガベス、カブリー、メドニン、タタウィーンではマルズキーの得票率は56～78%に上った。議会選挙で南部の最大得票党がナフダ党であったことと照らし合わせると（『中東かわら版』No. 169、2014年10月30日付）、マルズキーはナフダ党支持者から票を獲得したと考えられる。投票前、ナフダ党は「旧体制派」（注：シブシーを意味する）に投票しないよう呼びかけていた。

ナフダ党がマルズキーを支持したことを踏まえると、決選投票は、実質的にはチュニアの呼びかけ党とナフダ党の争いになることが考えられる。しかしこの場合、対立軸が「イスラム主義か世俗主義か」になってしまい、世論及び政界がこの軸で分裂し、以前の不安定な政治過程に戻る懸念がある。現在、各党は決選投票でどちらの候補者を支持するか、党内・政党間で調整中である。上位2者の得票率の差はわずか6ポイントであり、諸政党の態度次第で結果が決まると見られる。

（金谷研究員）

©本「かわら版」の許可なき複製、転送、引用はご遠慮ください。

ご質問・お問合せ先 公益財団法人中東調査会 TEL:03-3371-5798、FAX:03-3371-5799